



江戸川区で一番の心のこもった挨拶のできる学校を目指します。

いま ここ

教育目標

「いま」「ここ」でがんばる生徒を育てる

- ◎ 健康で心豊かな人
- ◎ 自ら学び実行する人
- ◎ 協力し合い責任を持つ人



- 令和7年度がスタートしました -

校長 千野 裕司

4月1日より校長として着任しました千野裕司（ちのゆうじ）です。どうぞよろしくお願ひいたします。

正門の桜も満開となり、さわやかな快晴の空のもと、4月8日に169名の新入生を迎え、第48回入学式を無事挙行することができました。新たな夢や希望をもって、純粋にまっすぐを見つめる新入生の表情を見ると、誠実に向き合っていこうと新たな決意を胸にしました。

入学式の式辞で二つのことを新入生にお話ししました。

ひとつは「これからが これまでを決める」ということです。「これからが これまでを決める」とは、人生は良いことも悪いこともあるけれども、すべて無駄なことではない。小学校から中学校にあがる「これまで」がいくら良くても、あるいは悪くても、そのことが良かったのか、悪かったのかを決めるのは「これから」であるという意味です。中学校に上がるまでのここまでの人生で、うまくいかなかったことや後悔したことなどいろいろとあったと思います。でもこれからの行いですべてが決まるということ。皆さんには、自分の今までの思いを胸に、大きな夢をもって思い切って中学校三年間を過ごしてほしい。うまくいくかいかないかはその次です。やってみることが大事です。

もうひとつは、「あいさつ」です。私は昔から心のこもった「あいさつ」は何よりも重要だと考えて生きてきました。わたくし事の話になりますが、以前に同じ学校の職員室で働いていた七十代の方がいらっしゃいました。私はその後、職場が変わりその方と会うことはなかったのですが、後日いただいたお手紙にこう書いてありました。「千野さんが毎朝元気にあいさつしてくれるから、私はここで働いていいんだと安心させてもらえました。今は私が若い方たちにあいさつすることで生活が潤い、幸せに暮らしています。」とのことでした。そのお手紙をもらい、私は間違っていなかったんだと思いました。あいさつはあなたを大事にしているというメッセージです。あいさつを返してもらえず悲しい思いをしたこと、温かいあいさつをしてもらえて心が温かくなったこと、誰もが経験したことがあると思います。大きな声のあいさつだけが良いあいさつでもありません。相手を大切に作る心のこもったあいさつが人の心を動かします。

私には夢があります。それは、二之江中学校を「江戸川区で一番の心のこもったあいさつのできる学校」にすることです。あいさつで心温まる空間をつくり、人を大切に作る安心安全な学校になってほしいと願っています。

二之江中学校は、ここに集う人々が「夢と希望」を育む学校でありたい。人生は一度きり。日々夢を追い求めながら生きる生き方と、ただ漠然と日々を過ごす生き方のどちらが素敵でしょうか。夢は「叶う」ものではなく「叶える」ものです。そのためには壁にぶつかっても、失敗しても歩みを止めないことが大切です。歩みを止めた瞬間に夢は遠のいていきます。力強く夢を語り、歩み続ける生き方をしてほしいと願っています。

私たちは「いま」「ここ」で頑張る皆さんを全力で応援します。

□よろしくお願ひします！（転入者等紹介）（主任…主任教諭 非常勤…非常勤教員）

<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇 〇〇（校長）【昇任・江戸川・小松川中】 ・〇〇 〇〇（音楽・主任）【江戸川・南葛西二中】 ・〇〇 〇〇（特支・主任）【板橋・赤塚一中】 ・〇〇 〇〇（特支）【中央・銀座中】 ・〇〇 〇〇（特支）【大田・貝塚中】 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇 〇〇（社会）【新規採用】 ・〇〇 〇〇（数学）【新規採用】 ・〇〇 〇〇（国語・非常勤）【江戸川・瑞江三中】 ・〇〇 〇〇（学校事務）【江戸川・鹿骨中】 ・〇〇 〇〇（特支専門員）【江戸川・松本小】
---	---